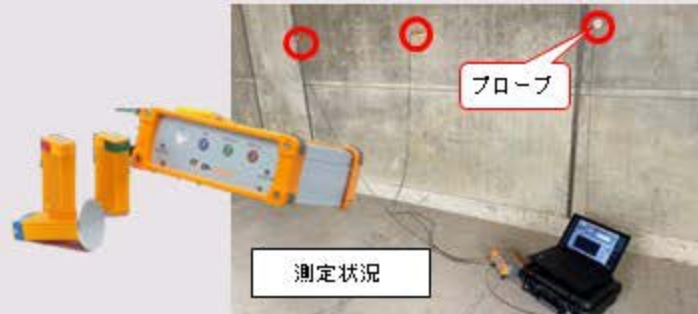


腐食測定機『Dr.CORR』

コンクリート構造物中の鉄筋の腐食状態を把握するためには、コンクリートを一部はつり出す必要があったが、本測定機では完全非破壊での測定が可能となる技術。



令和5年度 実りある学舎を開催しました！

《日 時》 令和6年2月9日(金) 14:00~15:45
 《テーマ》 可塑性グラウトを用いた重力式係船岸の増深工法について
 《講 師》 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
 地盤研究領域 上席研究官 水谷 崇亮 氏



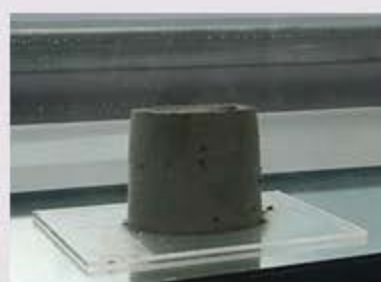
【講演内容】

既存施設の改良設計における着眼点
 重力式係船岸の改良工法
 可塑性グラウトを用いた重力式係船岸の増深工法

- ・設計が成立するかの机上検討
- ・改良体の力学試験
- ・実験室内での模擬施工試験
- ・京浜港ドック、川崎港での実証試験



机上計算による増深断面の検討結果
 小さい改良体で断面が成立する
 断面の挙動の精査が必要
 施工可能性や設計条件との対応関係の検討が必要



可塑性グラウトは水中
 不分離性があり水質汚濁の心配が少ない



可塑性材



基材



可塑性グラウト

広島技調では今回を含め、これまで紹介した技術について、活用・推進を図っていきます。

国土交通省 中国地方整備局 広島港湾空港技術調査事務所

〒734-0011 広島市南区宇品海岸3丁目10-28 4F

【TEL】082-250-1902

広島技調

検索

